

決算報告



平成23年度一般会計の主な事業

子ども手当給付費	6億 789万円
社会資本整備総合交付金事業（市道等の改良費）	4億 8,987万円
自立支援給付費	4億 5,061万円
経営安定資金融資事業	4億 1,960万円
消防・救急デジタル無線整備事業	3億 4,614万円
小口融資事業	2億 7,059万円
ごみ処理施設維持補修費	1億 8,705万円
現年補助災害復旧事業(市道、河川等の災害復旧費)	1億 8,557万円
竹原小学校耐震補強事業	1億 8,054万円
最終処分場増設工事	1億 5,788万円

一般会計決算は

218億1545万円

平成23年度の一般会計の決算額は、歳入が231億4630万円（前年度比0・7%減）、歳出が218億1545万円（前年度比0・2%減）といずれも前年度を下回りました。

翌年度へ繰り越すべき財源6597万円を差し引いた実質収支は12億6488万円の黒字となりました。

平成23年度決算の特徴として、歳入では、東日本大震災による景気低迷で個人所得の減が懸念されていましたが、市税収入は612万円と微減しているものの昨年並みとなりました。

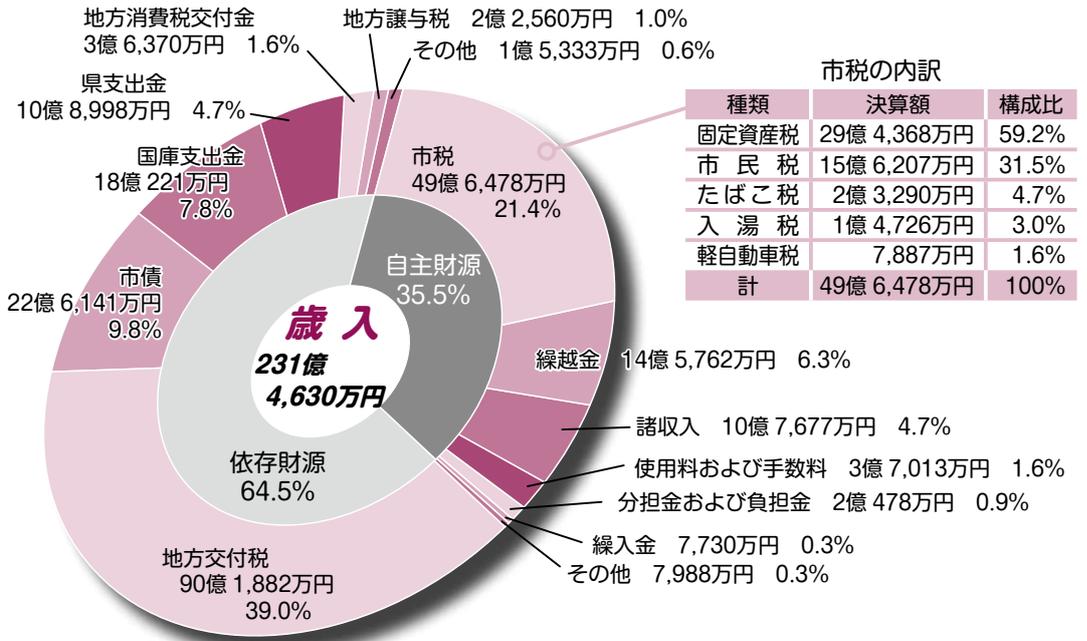
歳出では、消防・救急デジタル無線整備事業、社会資本整備総合交付金による道路整備などを実施しましたが、普通建設事業全体では2億2495万円の減額となりました。基金においては、取り崩しをできる限り控え、財政調整基金と公共事業基金の積立を行いました。

【経営管理部・財政課】

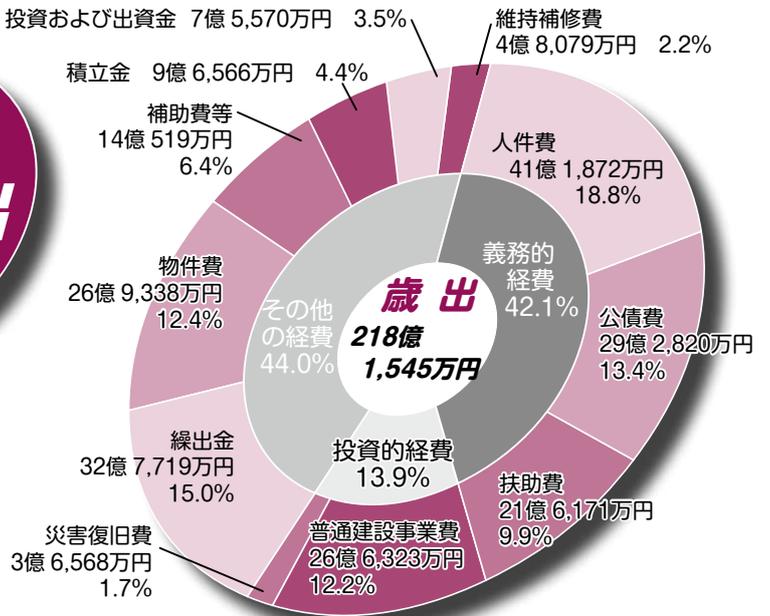
●左ページの用語解説

- 【歳入】一年間のすべての収入
- 【自主財源】市が自主的に収入できる財源
- 【依存財源】国や県から交付されたり、借り入れたお金
- 【地方交付税】小規模自治体でも、一定のサービスが確保できるように格差解消のために国から交付されるもの
- 【国県支出金】国や県の決めたルールにあった仕事をする場合に、必要な費用の一部または全部が補助されるもの
- 【市債】公共施設の建設など、一度に多額の出費が必要な場合に認められる長期の借入金
- 【歳出】一年間のすべての支出
- 【義務的経費】人件費、扶助費、公債費のことで、支出が義務付けられた経費
- 【投資的経費】市の道路や建物などの建設事業費や用地の購入費、災害復旧費など
- 【扶助費】生活保護費や高齢者、児童、障がい者などへの援助費など福祉施策のための経費
- 【物件費】委託料や使用料、光熱水費、消耗品費、備品購入費、修繕費など
- 【補助費等】各種団体への補助金や交付金、保険料、謝礼など
- 【公債費】借り入れた市債の返済に充てる経費で、元金の返済金とその利息

目的別に見た歳出の状況



一般会計 歳入・歳出の状況



- 民生費**
 各福祉事業を行うためのお金
 - 土木費**
 道路や住宅等の整備・管理に使うお金
 - 衛生費**
 市民の健康管理やごみ処理に使うお金
 - 総務費**
 一般事務を行うためのお金
 - 教育費**
 学校教育、社会教育などに使うお金
 - 商工費**
 観光・商工業の振興のために使うお金
 - 公債費**
 借入金の返済や利息の支払いのためのお金
 - 農林水産業費**
 農林水産業の振興のために使うお金
 - 消防費**
 消防施設の整備や消防団運営に使うお金
 - 議会費**
 市議会の運営を行うためのお金
- 議会費 0.9% 1億8,862万円

災害復旧費 1.7% 3億6,568万円

労働費 0.3% 6,433万円